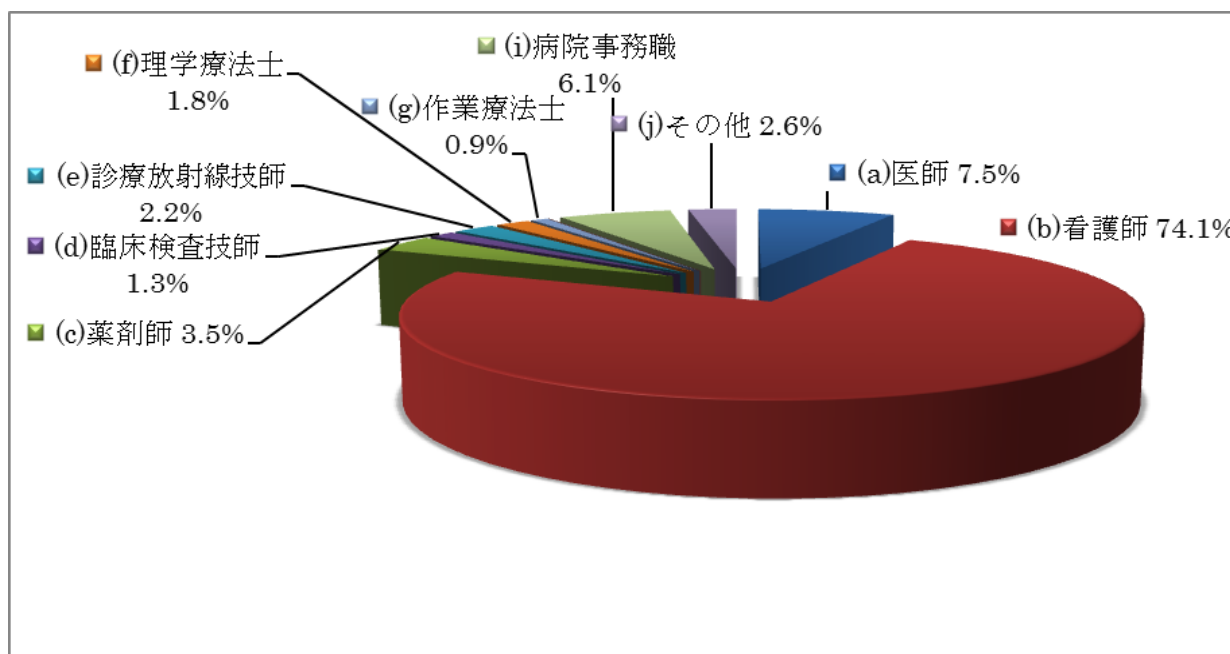


「平成27年度医療安全に関するワークショップについてのアンケート」集計結果

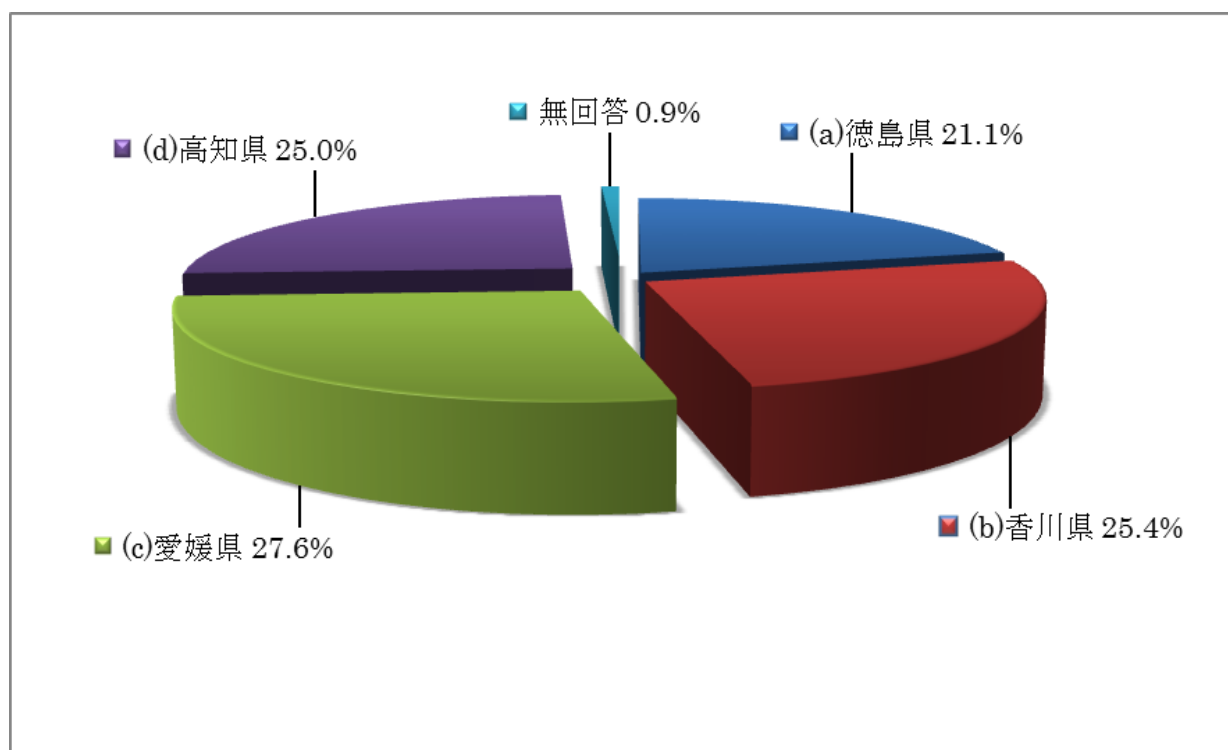
開催年月日：平成27年12月9日(水)～10日(木)
 場所：サンポートホール高松(香川県高松市)
 受講者：262名(1日目255名、2日目77名)
 回収件数：228件(回収率：約87.0%)

1. 職業種別



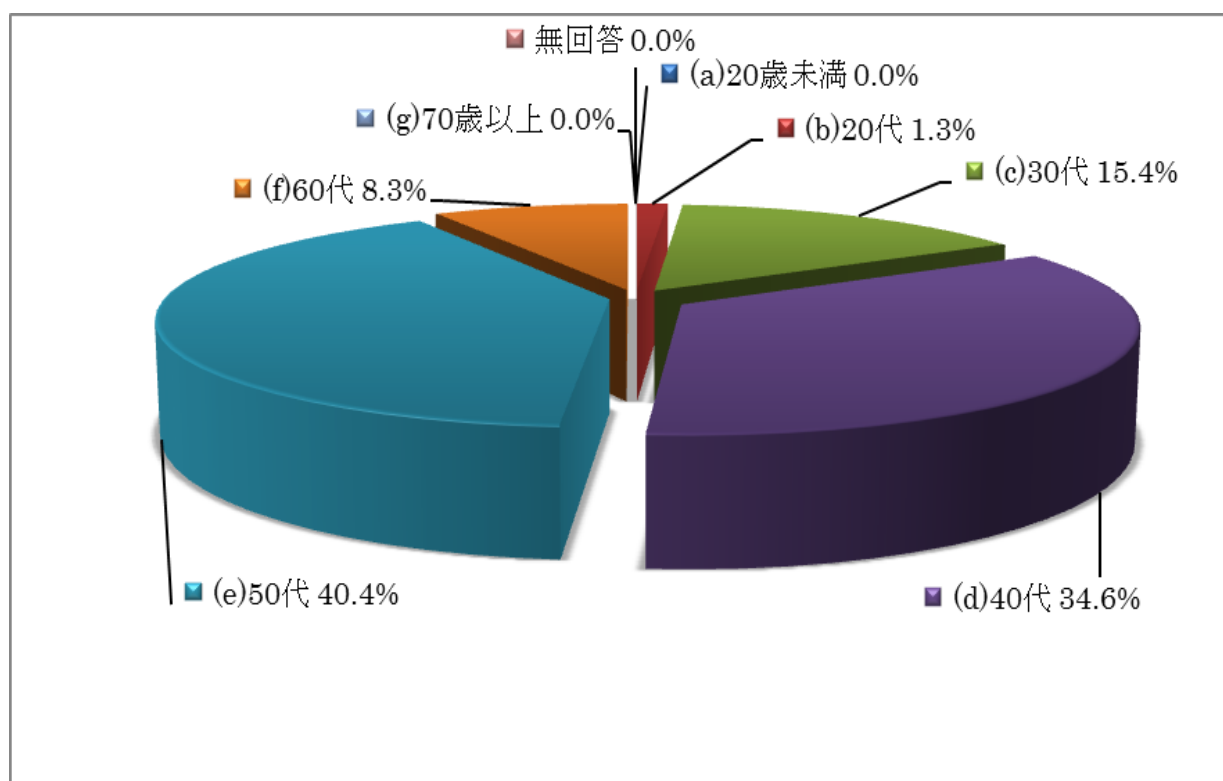
| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| (a)医師 | 17 | 7.5% |
| (b)看護師 | 169 | 74.1% |
| (c)薬剤師 | 8 | 3.5% |
| (d)臨床検査技師 | 3 | 1.3% |
| (e)診療放射線技師 | 5 | 2.2% |
| (f)理学療法士 | 4 | 1.8% |
| (g)作業療法士 | 2 | 0.9% |
| (h)言語聴覚士 | 0 | 0.0% |
| (i)病院事務職 | 14 | 6.1% |
| (j)その他 | 6 | 2.6% |
| (k)一般 | 0 | 0.0% |
| 計 | 228 | 100.0% |

2. 勤務先の県名



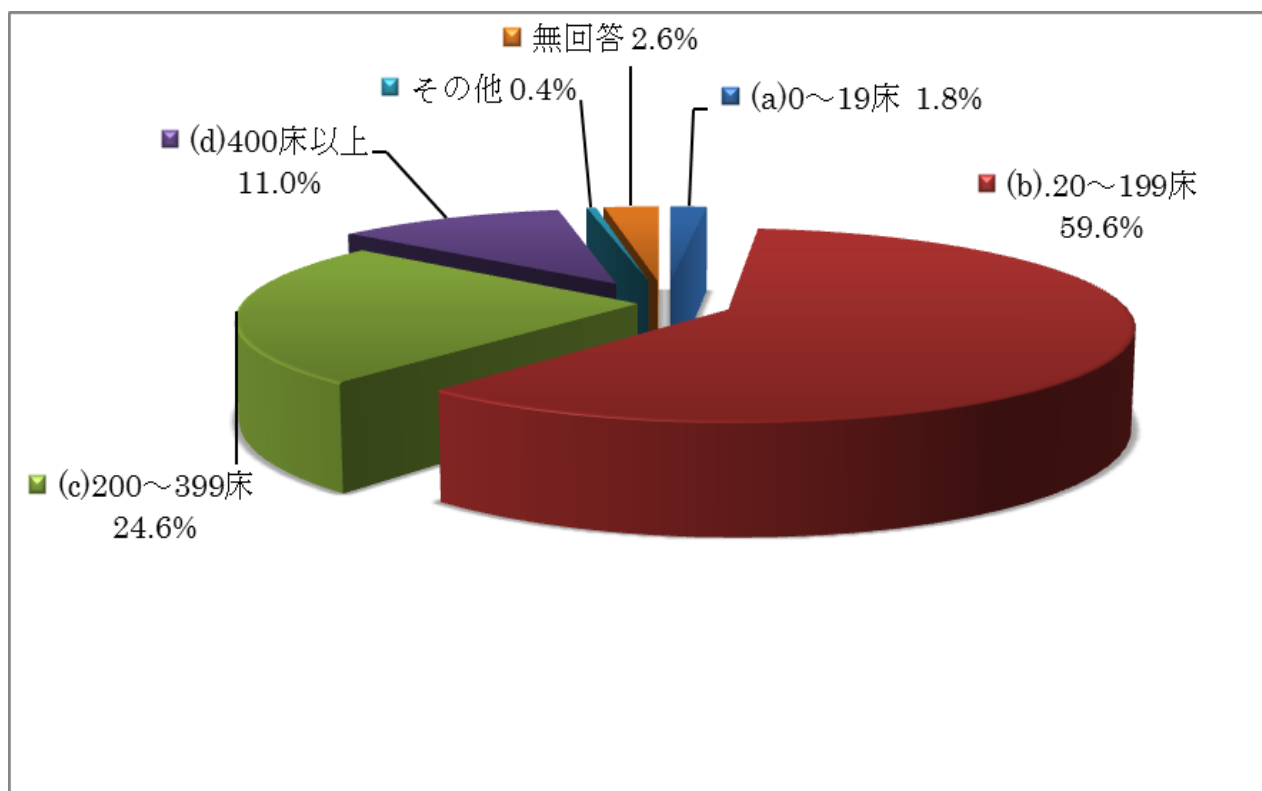
| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| (a)徳島県 | 48 | 21.1% |
| (b)香川県 | 58 | 25.4% |
| (c)愛媛県 | 63 | 27.6% |
| (d)高知県 | 57 | 25.0% |
| 無回答 | 2 | 0.9% |
| 計 | 228 | 100.0% |

3. 年齡



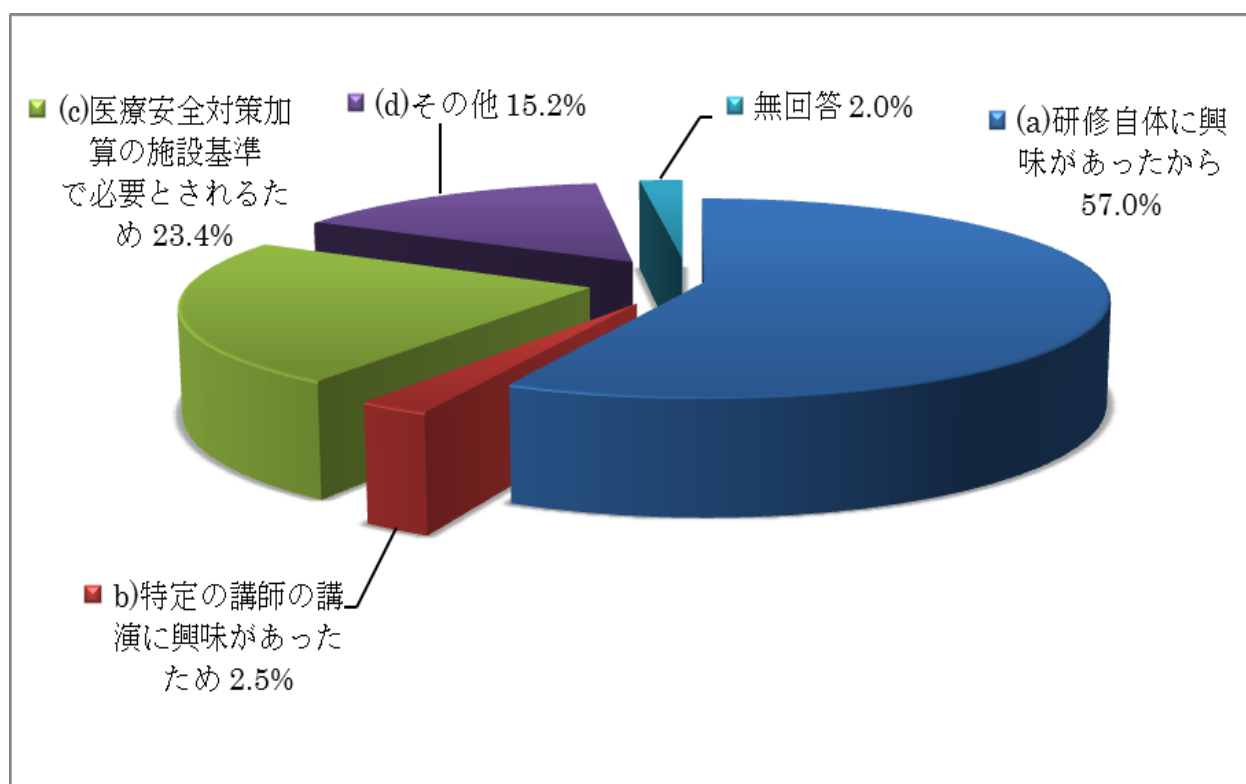
| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| (a)20歳未満 | 0 | 0.0% |
| (b)20代 | 3 | 1.3% |
| (c)30代 | 35 | 15.4% |
| (d)40代 | 79 | 34.6% |
| (e)50代 | 92 | 40.4% |
| (f)60代 | 19 | 8.3% |
| (g)70歳以上 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 計 | 228 | 100.0% |

4. 勤務医療機関の病床数



| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (a)0~19床 | 4 | 1.8% |
| (b).20~199床 | 136 | 59.6% |
| (c)200~399床 | 56 | 24.6% |
| (d)400床以上 | 25 | 11.0% |
| その他 | 1 | 0.4% |
| 無回答 | 6 | 2.6% |
| 計 | 228 | 100.0% |

5. 今回のワークショップの参加動機（複数回答含む）

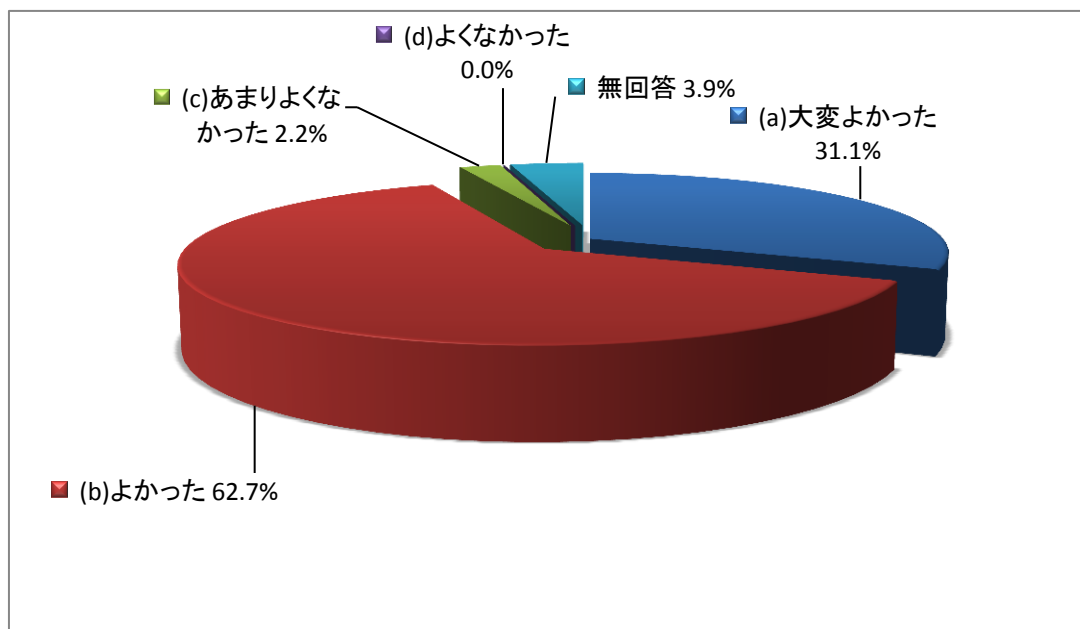


| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|---------------------------|-----|--------|
| (a)研修自体に興味があったから | 139 | 57.0% |
| (b)特定の講師の講演に興味があったため | 6 | 2.5% |
| (c)医療安全対策加算の施設基準で必要とされるため | 57 | 23.4% |
| (d)その他 | 37 | 15.2% |
| 無回答 | 5 | 2.0% |
| 計 | 244 | 100.0% |

6. 研修の内容について【1日目】

1) 講演①「医療事故事例分析の実際と対策立案、改善、評価について」

講師： 聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室
副部長 竜 トシ子 先生

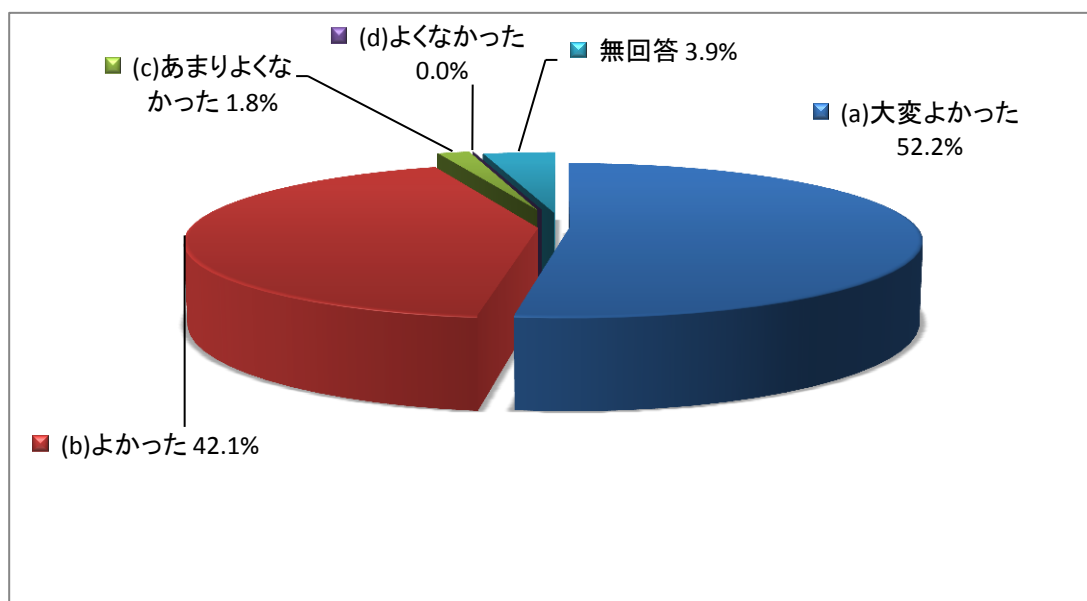


| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (a) 大変よかった | 71 | 31.1% |
| (b) よかった | 143 | 62.7% |
| (c) あまりよくなかった | 5 | 2.2% |
| (d) よくなかった | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 9 | 3.9% |
| 計 | 228 | 100.0% |

6. 研修の内容について【1日目】

2) 講演②「患者・患者家族の視点から期待する医療安全について」

講師： 新葛飾病院 医療安全対策室
医療対話推進者 豊田 郁子 先生

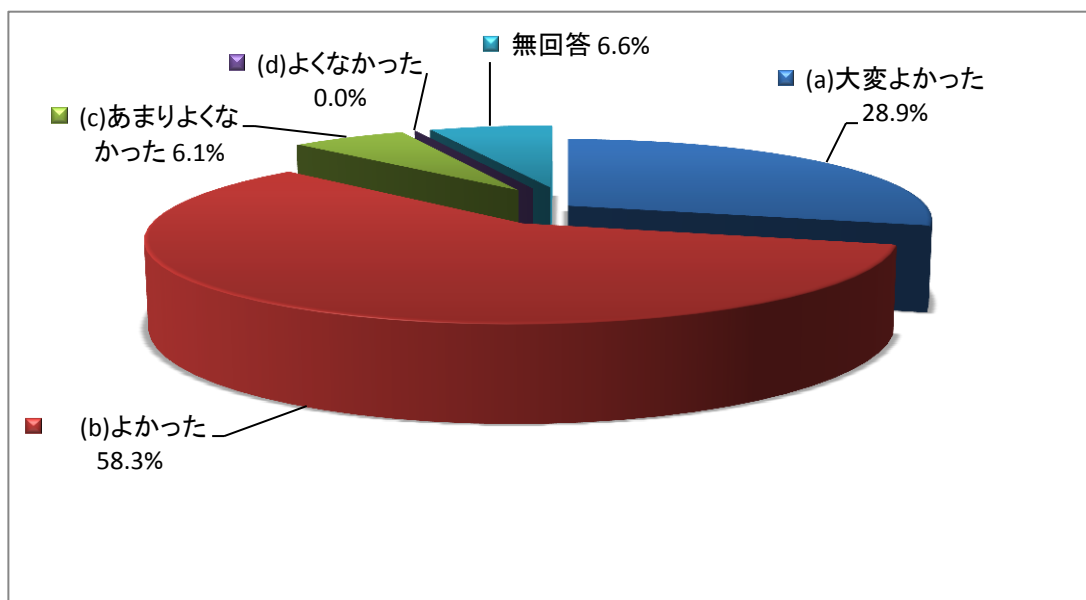


| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| (a)大変よかった | 119 | 52.2% |
| (b)よかった | 96 | 42.1% |
| (c)あまりよくなかった | 4 | 1.8% |
| (d)よくなかった | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 9 | 3.9% |
| 計 | 228 | 100.0% |

6. 研修の内容について【1日目】

3) 講演③「医療事故対応に関する病院の意識と医療事故調査制度の展望」

講師： 九州大学病院 医療安全管理部 教授・部長
(公財)日本医療機能評価機構 執行理事 後 信 先生

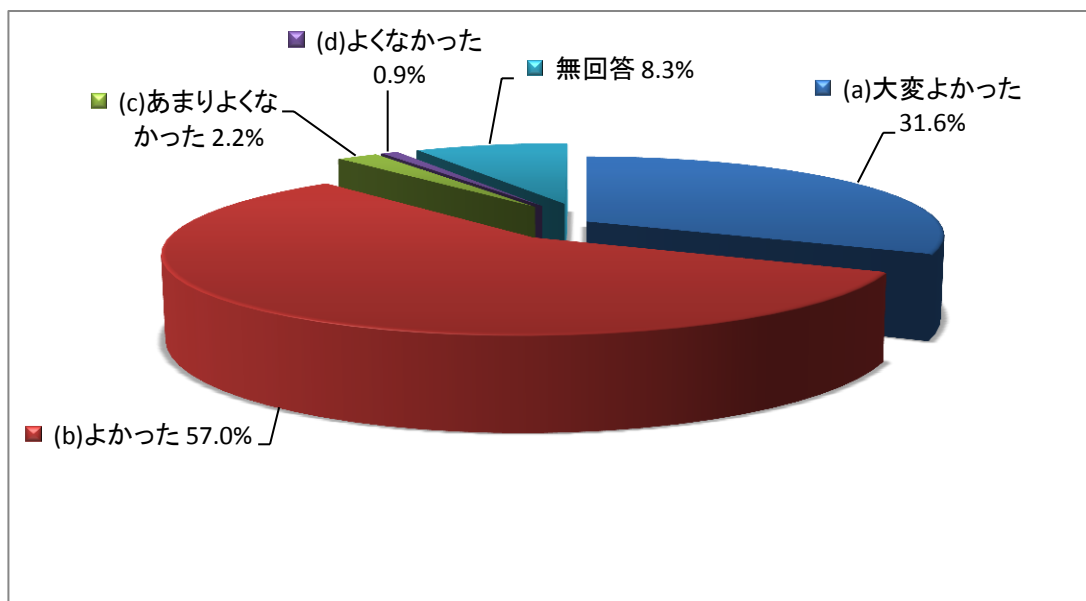


| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (a) 大変よかった | 66 | 28.9% |
| (b) よかった | 133 | 58.3% |
| (c) あまりよくなかった | 14 | 6.1% |
| (d) よくなかった | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 15 | 6.6% |
| 計 | 228 | 100.0% |

6. 研修の内容について【1日目】

4) 講演④「医療機関における医療安全研修の企画」

講師： パラマウントベッド(株)開発事業部
主席研究員 杉山 良子 先生

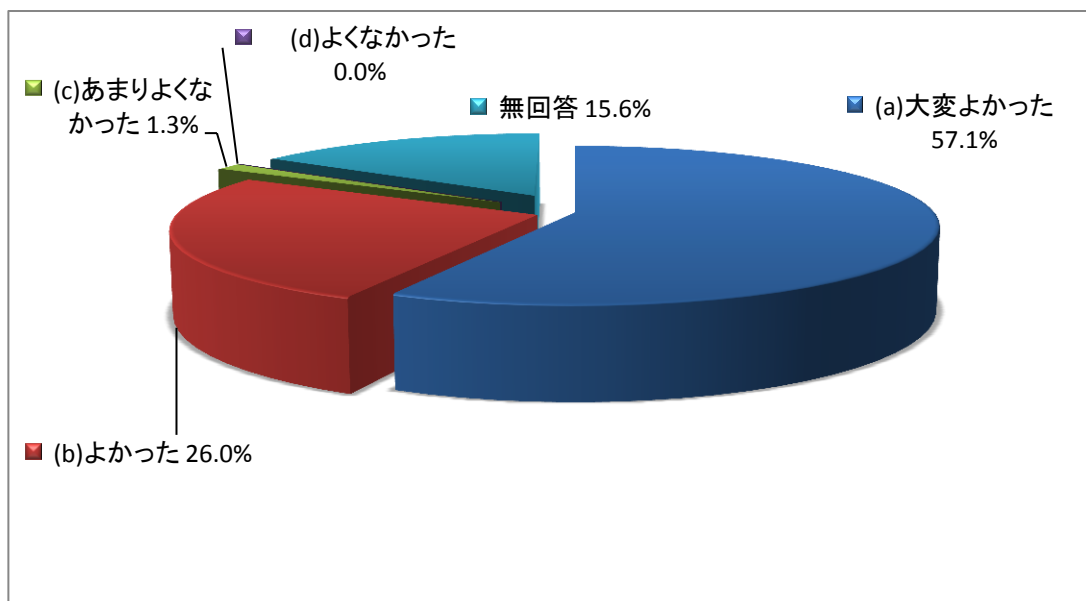


| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (a) 大変よかった | 72 | 31.6% |
| (b) よかった | 130 | 57.0% |
| (c) あまりよくなかった | 5 | 2.2% |
| (d) よくなかった | 2 | 0.9% |
| 無回答 | 19 | 8.3% |
| 計 | 228 | 100.0% |

6. 研修の内容について【2日目】

5) グループワーク「安全文化の醸成『活用しよう、チームSTEPPS』」

講師： 愛媛大学医学部附属病院 医療安全管理部
ゼネラルリスクマネージャー 戸田 由美子 先生



| 選択肢 | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (a) 大変よかった | 44 | 57.1% |
| (b) よかった | 20 | 26.0% |
| (c) あまりよくなかった | 1 | 1.3% |
| (d) よくなかった | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 12 | 15.6% |
| 計 | 77 | 100.0% |

7. 今回のワークショップについてのご意見、ご感想、お気づきの点等（主なもの）

【1日目 講演】

- 医療安全について改めて考える一助となった。
- 実践に適した講演内容でとても参考になった。
- 講師の先生方の熱い思いが伝わってきた。色々な分野の話が聞けて、バランスのとれた内容だった。
- タイムリーな話題を取り上げているので、ありがたい。
- これからの自院での研修や教育に役立てたいと思う。
- 1つの医療事故事例を、さまざまな分析方法で分析してみることで、分析方法の違いを知ることができた。今後実践につなげていきたい。
- KYT（危険予知トレーニング）がとても良くわかった。
- 遺族側からの胸の詰まるようなお話を聞き、医療には絶対がないこと、真摯に向き合い仕事することが大切だと思った。
- 重大事故がおこるまでにコミュニケーション不足があることに初めて気づいた。医療従事者同士のコミュニケーションの良さが患者の安全に繋がるといことが心に残った。
- 医療安全の原点に気付いて大変良かった。
- 医療事故調査制度について、制度までの経緯などの説明があり、とても分かりやすかった。
- 医療安全の研修の企画が参考になった。具体的な目標設定の重要性を感じた。
- PDCAサイクルの必要性和し方について具体的に研修してもらった。
- 講演時間が少し長い気がする。
- 電車の時間に合わせた時間で開催してもらいたい。
- スライドが見にくかった。（ピントがずれている。）小さい文字が見にくかった。
- 講演の時間を少し短くして、質疑応答の時間を作って欲しい。

【2日目 グループワーク】

- チームSTEPPSがとても分かりやすかった。
- 参加型のワークは大変有意義でした。
- 他職種の人達と交わり、お互いの立場を理解していくことで、自分にない知識が得られ、非常に勉強になった。
- とても楽しい時間だった。机上の勉強だけでなく、実際に会話して手と口と頭を使うことができ、充実した時間だった。
- 自院でも医療安全の研修の中に組み込んでいけたらと思う。何回も繰り返してトレーニングできるともっといいと思う。
- 安全に、安心できる医療を実践するには、チームワーク及びコミュニケーションが大切だと更に感じた。
- 普段の業務において、できていないことが多くあることに気付かされた。報告確認の仕方などは、意識して行わなければならないので、今回の学びを現場で実践できるように自ら取り組み、自院のスタッフにも伝えていきたい。
- シナリオ寸劇をやることで、習ったツールの意味を体感でき、とても分かりやすかった。自分が演じることに加え、他の方たちの劇を見ることでさらに頭に入ったように思う。
- 年2回以上の開催にするなどして、参加できる人数を増やして欲しい。
- また機会があればぜひ参加したい。
- 他県での開催もいいのではないかと思う。
- 4県にまたがったメンバーでのグループワークは意見交換、情報交換の場として良かった。このような機会は大切だと思う。
- 以前参加したときより会場が広くて良かった。
- 初対面の方々と声を掛け合いながら考えていくのが楽しかった。人の話をしっかり聞いて参考にし、否定せずに受け入れることが大切だと思った。
- （グループの中に）ファシリテーター（補助講師）が最初から入っていたので、（分からないことがあれば）すぐに聞くことができ、スムーズに進められて良かった。

※今回のグループワークで取り上げた「チームSTEPPS」は、医療の質、患者安全向上のためにチームで取り組むトレーニングプログラムです。